

配合飼料価格上昇に対応した家畜の生産性向上に向けた平成20年度行動計画(案)

家畜の生産性向上

目標

項目

対応方向

飼養技術等の普及

関係者が一体となった家畜の生産性向上の推進

配合飼料価格上昇に対処可能な飼養技術等の普及

全国段階

○全国生産性向上推進会議

・定期的な取組の点検及び成果の紹介

ブロック段階

○ブロック会議等

・推進会議、現地検討会等の開催

都道府県段階

○モデル地域の設定(全国で50ヶ所以上を設定)

・各都道府県で1ヶ所以上のモデル地域を設定し、取組を強化
(各畜種毎に、乳用牛:15ヶ所、肉用牛20ヶ所、豚10ヶ所、鶏5ヶ所以上を目標)

取組の内容

地域勉強会の開催

・生産者等を対象とした飼養管理技術等勉強会の開催

農家個別指導の実施

・相談員等が生産者を個別に訪問する等し、生産性向上を助言・指導

相談窓口の設置

・都道府県段階で相談窓口を設置し、生産者等からの相談に的確に対処

先行事例の調査・分析

・既に家畜の生産性向上に取り組んでいる事例を調査・分析し、紹介

啓発資料等の作成・配布、ホームページへの掲載

・家畜の生産性向上にかかる飼養技術等に関する啓発資料等を作成・配布

配合飼料価格上昇に対応した家畜の生産性向上のための平成20年度行動計画(案)

家畜の生産性向上

目標

項目

家畜改良
の促進

対応方向

関係者が一体
となった家畜改
良の推進

全国段階

- 各畜種ごとの改良増殖にかかる技術検討会、研修会、勉強会等の実施
 - 各畜種ごとの遺伝的能力評価値の公表予定
- | | |
|-----|---------------------------------|
| 乳用牛 | ホルスタイン種:年3回、ジャージー種:年2回 |
| 肉用牛 | 黒毛和種:年1回、日本短角種・褐毛和種:年1回 |
| 豚 | バークシャー、ランドレース、大ヨークシャー、デュロック:年4回 |

未活用資源の飼料化促進

対応方向

未活用等資源の
飼料化促進

目標

DDGS

- DDGSの利活用に関する検討委員会を開催するとともに、配合設計の検討等を行い、一層の利用拡大を推進

飼料用米

- 飼料用米の利活用に関する検討委員会の開催や現地実態調査を実施するとともに、モデル実証を全国的に推進